

# 令和3年度 学校自己評価システムシート (埼玉県立草加南高等学校)

目指す学校像	困難に挑戦する強い心と豊かな人間性を育み、グローバルな視点をもって社会に貢献する人材を育成する
--------	---

重点目標	1 主体的・対話的で深い学びの実践、指導と評価の一体化を進め、学習指導の質を高める 2 一人ひとりの生徒理解を基礎とし、自主性を促しつつ、適切かつ組織的な生徒指導をすすめる 3 多様な進路実現に向けきめ細かな指導を継続すると共に、大学入試改革に対応できる進路指導を確立する 4 グローバル人材育成事業及び本校独自のプログラムを通し、地域に開かれた学校づくりを推進する
------	--

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者 生徒 事務局(教職員)	名 名 名
-----	-------------------------	-------------

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。  
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学校自己評価					年度評価(令和 年 月 日 現在)		
年度目標					評価項目の達成状況		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	達成度	次年度への課題と改善策	
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の授業に取り組む姿勢は高く評価できる。対話的学び等を通して、探究力の向上を進めていく。</li> <li>「主体的・対話的で深い学び」の実践と指導と評価の一体化を進め、学習指導の改善を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>対話力、探究力等の育成に着眼した授業を実践する。</li> <li>観点別評価の在り方の検討を進める。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>授業公開や研究授業を実施し対話的学習の実践を進める。</li> <li>朝学習、学習支援アプリ、家庭学習等を活用し、目標意識と学習意欲を向上させる。</li> <li>国際バカロレア等特色のある教育検討事業に参加し、教育課程研究及び授業改善を行う。</li> <li>観点別評価の基準等の作成</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>授業公開、研究授業を通して、対話的授業や効果的なICT活用</li> <li>成績優良者の増加(昨年度1, 2学期平均10.9%)授業理解度の向上(昨年度85%)朝学習を効果的に実施。</li> <li>先進校視察、ワークショップ等を教育課程研究に反映</li> <li>観点別評価の基準を共有(研修会、教育課程委員会等)(新規)</li> </ol>			
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的生活習慣や規範意識は、ほぼ確立している。行事や部活動等を通して、多様な交流を生み、協働し対話力を向上させる活動を提供していきたい。</li> <li>受動的に規範を捉える段階から、自主性・自律性の力を伸ばす段階である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>多様な交流を生み、自らを内省的に考察し、自己肯定感を醸成する機会を提供する。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>学校行事、部活動等を通し、対話力自立性等を向上させる。</li> <li>メンタルヘルス研究推進校として、生徒理解を基礎とする組織的指導を進める。</li> <li>様々な講演会及びワークショップを通して、規範遵守の意義や自律意識の向上を学ぶ機会を提供。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>体育祭、文化祭等の学校行事及び部活動を通して、挑戦する場を提供</li> <li>特別支援委員会、特別支援コーディネーターを活用し、組織的な生徒理解の推進と相談体制の整備(新規)</li> <li>関係機関との連携と迅速な対応</li> <li>交通安全教育、人権教育、ネット社会、薬物乱用防止の講演会等実施と自律意識向上の機会の提供</li> </ol>			
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の進路希望は多様であり、3年後を見通した進路意識の育成が必要である。</li> <li>個々の生徒の進路実現に向けて、キャリア教育等を進め、さらに職業意識を高めていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒個々の進路実現のため、体系的かつ組織的な進路指導を展開する。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>計画的なガイダンス等を実施し、キャリア意識を高め、進路実現へつなげる。</li> <li>大学入試対策講座等を継続し、参加率を上げる。</li> <li>英語検定等に係る学習指導を研究し合格率をあげる。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>進路行事の生徒満足度の向上(昨年度肯定の割合70%)各種ガイダンス、大学、専門学校等との連携</li> <li>大学入試に向けた対策講座の実施</li> <li>進路検討会、研修会の実施</li> <li>英語検定等の合格者数の増加(R2英検準2級と2級の合格者数90名)</li> </ol>			
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>外部機関との交流等グローバル教育の実践が、コロナ禍により制限されている。これまでのグローバル教育、生徒会、部活動等の取組の継続を模索しつつ、次のアプローチを検討及び実施していくことが急務である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本校の教育活動を積極的に発信し、生徒の将来を見据えたグローバル教育を展開していく。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>HPの効果的な活用と学校説明会等の工夫により、本校の魅力を地域に発信する。</li> <li>東京2020オリパラ教育推進校として、国際社会に貢献できる人材を育成する。</li> <li>国際バカロレア教育手法を研究し、語学研修等を充実させ、生徒の語学への関心を一層向上させる。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>ホームページ更新回数</li> <li>生徒募集等の発信方法と内容の改善</li> <li>「総合的な探究の時間」の有効活用とオリパラ観戦のリフレクションを効果的に地域へ発信</li> <li>講演会の実施及び国際社会とスポーツの関係を考察</li> <li>SDGsワークショップとフィールドワークを実施(新規)・国内語学研修を効果的に実施(7~8月)</li> </ol>			

学校関係者評価		
実施日(令和 年 月 日)		
学校関係者からの意見・要望・評価等		